

年 組 名前:



小型コンピューターにセンサーを取り付ける生徒 二日川高

高校「情報Ⅰ」で産学官協議会 授業モデル作成へ

県教委

高校の科目「情報Ⅰ」について、県教委が産学官の関係者でつくる協議会を立ち上げ、教員の指導力向上や授業への外部人材の活用に向けた取り組みを進めている。10月には日川高で外部講師を活用した特別授業を実施した。

（小池直輝）

情報Ⅰは、2025年の大
学入学共通テストから試験科
目となる。プログラミングや
情報デザインの考え方が
出題されることから、生徒の
関心も高まっている。協議会

10月26日の特別授業では

は大学や民間企業、高校の関
係者で構成。産学官の連携・
協力体制を構築して年度内に
情報教育の基盤となる授業モ
デルをつくる方針だ。

プログラミング学習教材を開発
する「スクーミー」（甲府市）
の担当者が講師を務めた。生
徒たちは、動かし触った
りするなどの動作を感知する

10種類以上のセンサーを小型
コンピューターに付け替え
て、コンピューターを触れた
り、傾けたりしながら装着さ
れたLEDライトが光るかど
うかを確認。センサーがスマ
ートフォンなど、日常で使用
されていることを学んだ。

スクーミーの塩島諒輔CE
Oは「テクノロジーへの理解
は社会で必須。日常に結びつ
けて学ぶことが大切」と話す。
県教委の担当者は協議会で作
成する授業モデルについて、
「生徒の興味関心を引き出す
内容を考えたい」と話してい

問1

県教委は、高校の科目「情報Ⅰ」についての協議会を
立ち上げました。
協議会は、どのような取り組みを進めていますか。

.....

.....

問2

「情報Ⅰ」の科目が、生徒の関心が高まっている理由を
教えてください。

.....

.....

問3

協議会は、だれで構成されていますか。

.....

問4

県教委は、どのような授業モデルを考えていますか。

.....

(2023年11月22日付 山梨日日新聞 18面)